

# 令和5年度 第3回小樽市新総合体育館整備検討委員会 議事録

開催日時：令和5年7月20日（木）14:00～15:30

開催場所：小樽市教育委員会第1会議室

出席状況 ○委員・・・9名

中川委員長、幸谷副委員長、

齋藤委員、吉田委員、遠藤委員、鍛冶委員、奥山委員、堀口委員、渡邊委員

○教育委員会・・・9名

林教育長、鈴木部長、野呂次長、近藤主幹、真鍋主幹、永井課長、久保田主査、

荒谷主査、浪岡主任

○株式会社建設技術研究所（委託業者）・・・4名

## 1. 開会

- ・ 【事務局】全11名の委員中9名が出席しており、小樽市新総合体育館整備検討委員会の設置及び運営に関する要綱、第5条第2項により、委員会が成立していることを報告する。

## 2. 視察報告

- ・ 【事務局】「第2回小樽市新総合体育館整備検討委員会（先進地視察）」について説明。
- ・ 【委員】これまで、イベント優先の体育館かスポーツの体育館か疑問に思っていた。伊達市総合体育館はスポーツのみを行い、文化系のイベントは隣接している施設で行うこととしており、用途によって施設を分けているのが良かった。また、指定管理者が熱心で、開催されているイベントが多い点も良かった。伊達市総合体育館の「あかつき」のように、新総合体育館も愛称があるとよい。
- ・ 【委員】両極端のような施設であった。アブロス沼ノ端スポーツセンターは健康のための施設であると感じた。伊達市総合体育館は避難所としての利用に特化していた。今後、LGBT等への配慮も必要である。
- ・ 【委員】アブロス沼ノ端スポーツセンターは市民が集まりやすい要素が多くあった。プールサイドの素材については非常に良い素材を使用しており、安心して使用できると感じた。小樽市は高齢者の町でもあるため、安全面の観点も重要である。時代のニーズに合わせて部屋の使用目的を変えることも必要であり、1つの目的に特化した施設にするのではなく、可変性のある施設となるとよい。新総合体育館の公園に面した部分は伊達市総合体育館のような形になるとよい。プールを併設した施設では、水との闘いとなることが分かった（床の濡れ、湿気等）。また、動線上の管理ポイントも重要であると感じた。少ない人員でいかに効率的に管理するかを考える必要がある。
- ・ 【委員】アブロス沼ノ端スポーツセンターは、市民の健康増進施設として気軽に利用できるような施設であると感じた。小樽市新総合体育館も健康増進に配慮した施設としている。子供から高齢者までの利用に関して、どのように配慮し整備するかも重要である。
- ・ 【委員】小樽市として、どのような利用者をターゲットとするかを考える必要がある。色々盛り込むと散らかってしまう。現総合体育館の使用時間帯区分は小中学生の利用可能な時間帯とマッチしているか疑問があり、会社帰りの人などへの配慮が少ないように感じる。新総合体育館は子供から学生・社会人、お年寄りが使いやすい設備・開館時間等を考える必要がある。プールサイドの滑り止めや、トイレの使い勝手等の点において、利用者を想定した設計とする必

必要がある。また、LGBTQ への配慮も考える必要がある。

### 3. 議事

#### (1) 施設整備方針について

- ・ 【事務局】資料1「施設整備方針について」説明。
- ・ 【事務局】p.7、床材について、フローリングを希望する結果となっているが、近年の体育館ではスポーツ用弾性塩ビシートを採用実績が多い。(用意したサンプルを実際に手に取って見てもらった)  
→ 【委員】メンテナンス性については分からないが、非常に柔らかい素材であり、障がい者・高齢者等のアスリートには良いと感じた。  
→ 【委員長】使用している団体・利用者の意見は聞いているか？採用実績があるのか？  
→ 【事務局】使用している団体・利用者には聞いてはいないが、採用実績はある。
- ・ 【委員】跳ね返りは同じなのか？  
→ 【事務局】ボールの跳ね返りは良いようである。
- ・ 【委員】人体への影響はどうか？  
→ 【事務局】負担を軽減できるようである。インシヤルコストは高いが、メンテナンスコストは比較的抑えられるようである。
- ・ 【委員】科学物質やアレルギー対応など、人体への影響が気になる。
- ・ 【委員】トイレに授乳室等をしっかり設置してほしい。  
→ 【委員】授乳室はトイレと別の場所の方がよい。  
→ 【委員】アブロス沼ノ端スポーツセンターに授乳室が設置されていたが、利用は少ないとのことであり、勿体ないように感じた。更衣室の一角に、カーテンで区切られたスペースがあったので、授乳室もそのような多目的に使えるスペースとすることも考えられる。  
→ 【委員】多目的スペースでは授乳しにくいように思われる。小樽市では、授乳スペースの設置を推進している。
- ・ 【委員】LGBTの方への意識が10年後は大きく変わっていると思われる。そのような社会情勢に対応できるような施設とする必要があり、今全てを決めることは難しい。
- ・ 【委員】天井高について、どのようなイメージか。また伊達市総合体育館の天井高は？  
→ 【事務局】伊達市は13m、現総合体育館も13mである。新体操の国体基準が12.5mであるため、12.5mとしている。
- ・ 【委員】にぎわい創出に期待したい。1階部分についても、冬季も明るく入りやすい施設となるとよい。雪しか見えないということにならないように、降雪を想定して設計してほしい。
- ・ 【委員】キッズスペースについて、良いことが書いてあるが、実現が難しいように思われる。発達障害の先生等の意見も踏まえて、十分に検討してほしい。  
→ 【事務局】他市でも様々な事例があり、相談しながら進めていきたい。
- ・ 【委員】キッズスペースについて、子どもを遊ばせる場所なのか、一時預かりをする場所なのか、目的によって広さや作りが異なると思われる。市としてどのように考えているか？  
→ 【事務局】ご指摘のとおり、コンセプトを明確にした上で、整備する必要があると考えている。
- ・ 【委員】小樽市では、「遊びだョ！全員集合！！」というイベントをやっているが、そのような遊具などがあると、子どもの体力向上につながるような場所となる。
- ・ 【委員】小樽は広い公園が少なく、子どもを連れて行く場所に困っているとの声をよく聞く。特に冬場は公園に行くこともできない。託児コーナーではなく、子どもが遊べるような施設とする必要

がある。

→【委員】単にキッズスペースがあるだけだと意味がない。

→【委員】閉じた施設ではなく、イベント時には連携でき、可変性のある施設となるとよい。

- ・【委員】上川郡に、子どもたちがアスレチックで遊べる施設がある。移住も進んでいるようである。
- ・【委員】昨年の視察（帯広市総合体育館）では、ふらっと親子が訪れていた。子どもの遊び場として良いものを造っていきたい。

## （２）施設計画について

- ・【事務局】資料２「施設計画について」説明。
- ・【委員】災害備蓄庫を設けるとのことであるが、災害ボランティアセンターは現在の福祉センターに設置することとなっている。しかし、福祉センターは災害に強いと言えるような施設ではなく、新総合体育館に災害ボランティアセンターを設置することも考えられる。  
→【事務局】災害関係については、防災担当と検討中である。次回以降に提示する。
- ・【委員】現総合体育館は観客席が広く、余裕がある。現総合体育館と新総合体育館の席数はどのようになっているか。  
→【事務局】現総合体育館は約 2,000 席、新総合体育館は約 1,000 席である。
- ・【委員】新総合体育館のキッズスペースの面積が狭いように思われる。  
→【事務局】小学校の教室 2 室分程度あり、決して狭いものではない。  
→【委員】部屋の形が長方形なのはどうかと思われる。  
→【事務局】今回のプランは、面積の算出のために検討したものであり、この通りに出来上がるものではない。キッズスペースの詳細（広さ等）については、次回提示する。
- ・【委員】駐車場計画について、２つの駐車場のレベルは同じか？  
→【事務局】敷地に高低差があることから、駐車場内にも高低差が発生している。  
→【委員】バスの駐車スペース等は検討しているか？中体連等の大会では、バスでの来場が多くなる。  
→【事務局】ご指摘の点も踏まえ検討する。
- ・【委員】緑町側からの駐車場への進入はできないのか？  
→【事務局】できない。
- ・【委員】開館時間が午後 9 時までということであるが、その時間までバスは運航しているのか（10 年後は分からないが）？  
→【事務局】午後 9 時までの運航はしていない可能性はあるが、市でバスを用意することは考えていない。
- ・【委員長】事務局の案を基に検討を進めることでよいか？→【委員一同】異議なし。

## 4. その他

- ・【事務局】「第 4 回委員会」は、8 月 30 日（水）10 時 15 分より、小樽市教育委員会第 1 会議室にて開催予定。

## 5. 閉会